

大学院生・若手研究者による 教師教育シンポジウム

参加
無料

主催者らは、第8回 広島大学校友会ドリーム・チャレンジ賞の支援を受けて、教師教育に関する自主的な研究を行ってきました。この度、プロジェクトの一環として、教師研究で知られる福島大学の坂本篤史先生をお招きし、教師教育シンポジウム（養成・研修含む）を開催する運びとなりました。同時に、我々院生も話題提供者としてそれぞれの研究を報告いたします。学部生・大学院生をはじめ、教師教育に関心のある幅広い方々との交流ができれば幸いです。なお、本事業はRIDLS講演会シリーズ（第12回）としてもご協力を頂いております。

日時 2015年9月11日(金) 13:00~17:00 (12:30 受付開始)

会場 教育学研究科 第3・第4会議室
(管理棟2F)

定員 100名程度 (事前申込み不要)



坂本 篤史 (さかもと あつし) 先生

1984年東京都生まれ。福島大学人間発達文化学類・准教授。東京大学大学院博士課程修了，博士（教育学）。日本学術振興会特別研究員，学校法人名古屋石田学園中等教育研究部部長，星城大学客員講師，同特任講師を経て，2015年度4月より現職。専門は教育方法学，授業論，教師論。主な著書に『協同的な省察場面を通じた教師の学習過程－小学校における授業研究事後協議会の検討－』（風間書房，2013年）がある。

主催：第8回 広島大学校友会ドリーム・チャレンジ賞

「学生・教師・専門家のコラボレーションによる授業改善研修システムの構築」プロジェクト

後援：広島大学 学習システム促進研究センター（RIDLS）・教育学研究科 社会認識教育学講座

当日の流れ

13:00-

開会の挨拶と趣旨説明

(主催者挨拶: 渡邊巧)

(後援挨拶: 池野範男)

13:10-

第一部 坂本先生による基調講演

(休憩・交流)

14:45-

第二部 大学院生による話題提供

(司会進行: 岡田了祐)

14:55-

話題提供① (渡邊巧・大坂遊)

15:15-

話題提供② (黒川麻実)

15:35-

話題提供③ (久恒拓也)

(休憩・交流)

16:10-

第三部 発表に対する指定討論

(指定討論者: 岩田昌太郎)

16:45-

総括討議

17:00-

閉会の挨拶

(挨拶: 渡邊巧)

話題提供者



黒川 麻実 (くろかわ まみ)

学習科学専攻 D1, 専門は国語教育学。博士論文の研究テーマは「初等国語教科書教材に関する教育文化史研究」。主な業績に「個体史的研究の再考ー野地潤家『国語教育-個体史研究-』を手がかりにー」『国語教育思想研究』第8号, 2014年, pp.75-84など。



大坂 遊 (おおさか ゆう)

文化教育開発専攻 D2, 専門は社会科教育学。博士論文の研究テーマは「社会科教師志望学生の教科観・教科指導力形成過程の大学間比較」。主な業績に「社会科教師志望学生の身体化した規範・教育論の脱構築ー移行・接続教育としての初年次教育の意義ー」『社会認識教育学研究』第30巻, 2015年(印刷中)など。



渡邊 巧 (わたなべ たくみ)

文化教育開発専攻 D3, 専門は社会科教育学。博士論文の研究テーマは「アメリカ社会科における教員研修の思想と方法」。主な業績に、「全米社会科協議会におけるPASSの構造と特質ー社会問題学習を基盤とした教員研修プログラムー」『社会科学研究』第83号, 2015年(印刷中)など。



久恒 拓也 (ひさつね たくや)

教育人間科学専攻 D3, 専門は教育史。博士論文の研究テーマは「『大学における教員養成』教育の歴史的研究ー新制東北大学教育学部を事例としてー」。主な業績に「新制大学発足時の『大学における教員養成』体制ー東北大学の教員審査書類の分析を中心にー」『日本の教育史学』第57集, 2014年, pp.71-83など。

岩田 昌太郎 (いわた しょうたろう)

健康スポーツ科学講座・准教授。専門は学校体育と教師教育。主な著書に『体育授業を学び続ける 教師の成長物語』(創文企画, 2015年, 共著), 『体育科教育学の現在』(創文企画, 2011年, 共著)など。



【お問い合わせ】 社会認識教育学講座 岡田了祐 okada@hiroshima-u.ac.jp

▶学習システム促進研究センターHP も併せてご確認ください。 <http://home.hiroshima-u.ac.jp/rldls/>